

災害時に町民の皆さんに実践していただきたい「命を守る行動・知識」を毎月お伝えしていきます。

近年、短時間の大雨や線状降水帯による災害、台風の大型化など、気象災害のリスクが高まっています。こうした災害から身を守るためには、**早めに危険を知り、適切に行動すること**が何より大切です。

そのために欠かせないのが、**防災気象情報の収集**です。

1. なぜ防災気象情報の収集が必要か

気象災害は、ある日突然起こるように見えても、実はその前に「兆候」があります。

大雨の予報、土砂災害の危険性、河川の増水、避難情報などを事前に知ることによって、次のような行動につなげることができます。

- ①**避難の判断ができる**：どのタイミングで避難するか、家にとどまるかを決める手がかりになります。
- ②**危険を避ける行動がとれる**：増水した川や崩れやすい斜面、浸水の可能性がある道路など、危険な場所を避けられます。
- ③**家族や周囲と連絡・準備ができる**：食料、飲料水、携帯電話の充電、薬、懐中電灯など、必要な備えを早めに整えられます。
- ④**避難情報を見逃さない**：町から出される避難情報や開設避難所の情報を確認し、すぐ行動できます。

防災情報は、「見て終わり」ではなく、自分や家族の行動を決めるための大切な情報です。日ごろから確認する習慣をつけましょう。



2. 防災気象情報の集め方の一例

①「キキクル」

気象庁が提供する、土砂災害・浸水害・洪水の危険度を地図で確認できるサービスです。現在の危険度が色分けされて表示されるため、直感的に状況を把握できます。



キキクル

②「サイポスレーダー」

静岡県が提供する、県内の気象情報や河川水位などを閲覧できる総合防災情報サイトです。さまざまな情報をリアルタイムで把握するのに役立ちます。



サイポス
レーダー

③「町公式LINE」

町からの防災情報や避難情報、避難所開設情報などを受け取ることができます。スマートフォンに直接届くため、いち早く情報を確認できるのが特長です。

防災情報は、ひとつだけを見るのではなく、複数の情報源を組み合わせることで確認することが大切です。これらを活用することで、災害の危険を早く知り、落ち着いて行動できます。

いざという時に慌てないように、平時から使い方に慣れておきましょう。

「自分は大丈夫」と思わず、早めの確認・早めの行動を心がけましょう。

次回は「感震ブレーカー設置補助金について」を掲載予定

【問】危機管理課 ☎0547(56)2237

内装&外装 塗装工事一式
なかむら塗装

静岡県知事許可 第25802号

川根本町徳山936

中村 剛子 (なかむら たかね)

TEL・FAX 0547-57-2840

町リフォーム補助金などのご相談、お見積りは無料です。お気軽にお問い合わせください。